

1 防疫措置をとる施設の状況

No	施設名 (全校在籍者数、クラス数、施設長名)	所在地	登園自粛をしたクラス等の状況				自粛期間
			クラス名等	在籍者数(人)	患者数(人)	うち欠席者数(人)	
1	稲熊保育園 (204名、9クラス、山田 由起子)	岡崎市稲熊町宮下59	いるか組	33	9	7	11月28日 ～ 12月1日

2 インフルエンザの症状

1～3日の潜伏期間の後、急な発熱（38～39℃）に始まり、頭痛、全身倦怠、筋肉痛などの全身症状と鼻水、せきなどの呼吸器症状、まれに嘔吐、腹痛、下痢などの消化器症状を示します。

3 注意事項

次のことに注意して感染予防に心がけましょう。

- (1) 帰宅後の手洗い及びうがいを励行し、できるだけ人混みを避けましょう。
- (2) 過労を避け、睡眠をよくとり、暴飲・暴食をせず、保温を心がけ休養しましょう。（無理をして、学校や会社に出ると悪化させる原因になり、他の人に感染させてしまうこともあります。）
- (3) 持病のある方々のなかには、インフルエンザに感染すると重症化するリスクが高いと判断される方がいます。特に次の持病がある方々は感染しないように注意しましょう。
 - ・慢性呼吸器病疾患 ・慢性心疾患 ・糖尿病などの代謝性疾患
 - ・腎機能障害 ・ステロイド内服などによる免疫機能不全
- (4) 感染したと思ったら、早めに医師の診察を受け、安静を保って肺炎等の合併症を防ぐように心がけましょう。
- (5) 高齢者は、本疾患が長引くと肺炎等重症になる可能性があるため、かぜの症状が出た場合、早めに医療機関で受診しましょう。

「咳エチケット」で感染防止を！

- ◆ 咳・くしゃみ際にはハンカチやティッシュなどで口と鼻を押さえ、周りのひとから顔をそむけましょう。
- ◆ 使用後のティッシュを、すぐにフタ付きのゴミ箱に捨てましょう。
- ◆ 症状のある人はマスクを正しく着用し、感染防止に努めましょう。